

平成11年8月26日

DLJdirect SFG 証券が取扱い投資信託を拡充

- 広いカテゴリーの投信で投資家のニーズに応える -

インターネット・トレーディング専門証券会社のディーエルジェイディレクト・エスエフジー証券株式会社(代表取締役社長:國重惇史、本社:東京都千代田区;以下「DLJdirect SFG証券」)は、本年6月11日のサービス開始以来、東証、大証の上場現物株式、店頭登録株式とMMF3本という商品を取り扱って参りましたが、個人投資家の投資信託ニーズに応えるため、8月30日より投資信託商品のラインナップを拡充することといたしました。これにより、DLJdirect SFG証券が取り扱う投資信託のファンド数は合計23本になります。

分類	ファンド名	運用会社
MMF (マネー・マネージメント・ファンド)	ハートナーズMMF	ハートナーズ投信
	国際のMMF	国際投信投資顧問
	DKAのMMF	第一勧業アセットマネジメント
インテックス型株式投信	株式インテックスファンド225	第一勧業アセットマネジメント
	日経225ノーロードオープン	日本興業投信
バランス型株式投信	アライアンス・ユーロ・ボンド・オープン	アライアンス・キャピタル投信
	GS・欧州バランス・ファンド	ゴールドマン・サックス投信
	エス・ピー・日本債券ファンド	大和住銀投信投資顧問
公社債投信	スマイル(6ヶ月決算型)	コスモ投信投資顧問
	メロディ(3ヶ月決算型)	東京三菱投信投資顧問
	インハスコ・ゴールド・ファンド	インハスコ投信投資顧問
国際株式型株式投信	米国インターストリアルインカムファンド	インハスコ投信投資顧問
	ヘルスサイエンスファンド	インハスコ投信投資顧問
	ゴールドマン・サックス世界株式ファンド	ゴールドマン・サックス投信
	ステート・ストリート外国株式インテックス・オープン	ステート・ストリート投信投資顧問
	ビクテヨロビアンオープン	ビクテ投信投資顧問
	ファイブ・アローズ・ヨーロッパ・ファンド・ファンド	ロスチャイルド投信投資顧問
	インハスコ店頭・成長株オープン	インハスコ投信投資顧問
国内株式型株式投信	GS・日本株ファンド	ゴールドマン・サックス投信
	JF小型株オープン	シャチインフレンジング投信
	モルガン・スタンレー・マクナム・シヤルン・オープン	モルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信
	東京三菱日本株アクティブ・オープン	東京三菱投信投資顧問
	フル・チップ・セレクション	日本興業投信

これらのファンドの選択に際しては、特に次のような点を重視し、幅広いカテゴリーから厳選された投資信託ファンドをご提供しています。

- ・ 日系/外資系その他の系列の枠にとらわれないこと
- ・ ディスクロージャー情報が豊富なこと
- ・ 投資対象や投資方針が明確でかつ一貫していること
- ・ 短期での運用収益を目指すものではなく、中長期で運用されていること

また、投資信託の数だけでなく投資の判断基準となる情報を充実させることにも、DLJ*direct* SFG証券は注力しました。DLJ*direct* SFG証券では、取り扱うすべての投資信託についての詳細情報を調査。通常発表されている情報だけではなく、可能な限りそのファンドを運用しているファンドマネージャーへのインタビューを実施し、その内容もサイトで公開しています。また、ファンド分類ごとのリストやチャート等により個人投資家が各投資信託を比較、検討できるようにしています。個人投資家はDLJ*direct* SFG証券のホームページ上で、自らの責任と判断に基づき投資する投資信託を決めることができます。

確定拠出型年金(401K)の導入など、個人が自己責任により自らの資産を運用をしなければいけない時代になりつつある現在において、DLJ*direct* SFG証券は投資信託を個人の中長期の資産形成ツールと位置づけております。こうした意味からも、上記の選択基準は理に適ったものであると確信しています。

DLJ*direct* SFG証券は、今年3月にDLJ*direct* Japan Holdings Inc.と住友銀行、住友海上火災保険、住友商事、住友信託銀行、住友生命保険、大和証券グループ本社、インターネットイニシアティブが共同設立、6月11日より営業をスタートした日本初のインターネット・トレーディング専門の証券会社です。